

令和5年度 第6回学校運営協議会議事録

日 時	令和6年1月31日(水) 14:00～15:00
開催場所	下野市立南河内第二中学校 会議室
参加者	<p>〔学校運営協議会委員〕</p> <p>いざわ としこ おおもり ゆきこ くまだ ひろこ こすぎ まりこ 伊澤 登志子 大森 由貴子 熊田 裕子 小杉 満理子</p> <p>たざわ こういち なかざと あつし 田澤 孝一 中里 篤</p> <p>〔地域学校共同活動推進員〕</p> <p>うえの やすひさ 上野 保久</p> <p>〔事務局〕</p> <p>たかやま やすこ 高山 靖子</p> <p style="text-align: right;">(8名)</p>
議 題	<p>1 学校の教育活動等の評価(学校評価)について</p> <p>2 情報交換</p>
田 澤	<p>・本日から3日間の予定で、3年生による1・2年生への学習支援活動が始まりました。毎日の学習にしっかり取り組んできた3年生の生の声を伝えることで、1・2年生の学習意欲を高めることが目的で、3年生も意欲的に準備に取り組んでくれました。今日私は、特色選抜の出願があり、活動を見られなかったのですが、聞いたところによると、初日で固い雰囲気もあったようですが、3年生が一生懸命説明し、1・2年生も真剣に聞いていたということです。昨日の3年生の準備の様子を学年主任に聞いたところ、自分たちで情報を集め、発表の仕方を練習して、ああじゃない、こうじゃないと言いながらみんなで作り上げていたようです。今日の学校評価の中にもありますが、昨年度よりも子供たち主体で動けたものが増えたのかなという気がします。今年1年間、子どもたちにとっても我々教職員にとっても学びのある活動が多かったという実感があります。子どもたちの力を借りながらより良い学校生活にしていこうということで進んでいますので、これからも、さらに良いもの、さらに地域と密着した活動になるよう、今日の会議では、忌憚のないご意見をお願いいたします。</p>
小 杉 高 山	<p>【学校の教育活動等の評価(学校評価)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価につきまして、学校の方から説明をお願いします。 ・<学校評価の説明> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">R5生徒アンケートに対する考察</p> <p>○ 全体的には27項目中、A評価とB評価を合わせた肯定的評価が90%を上回る項目は18項目で昨年度より6項目増えた。70%に届かない項目は1項目のみで昨年度から1項目減った。全項目の平均としては、89.6%(昨年度から+4.5%)の肯定的な回答を得た。</p> </div>

また、A評価のみに着目すると、60%を超えた項目は15項目で昨年度から5項目増えた。40%未満の項目は3項目で、昨年度から2項目減った。自信を持って「そう思う」と答える生徒が増えている。

- 項目別に見ると「1 学校生活の充実」「2 授業の内容よく分かる」「4 友達の良さを認め、協力して学習に取り組む」「8 目標達成のために努力」「10 友達と仲良く生活」「11 決まりを守る」「12 係や清掃活動に取り組む」「14 悩みや相談を先生方はよく聞いてくれる」「16 部活への取組」「17 行事へ積極的な取組」「18 将来の職業や進路について考えている」「19 安全な生活」「20 マナーを守って給食を食べる」「21 適切な評価」「22 いじめのない学校」「23 先生方とのコミュニケーション」「24 タブレットについての正しい知識」「26 保護者や地域と協力して活動」「27 小学校との交流で中学生としての役割果たす」の19項目で、A評価とB評価を合わせた肯定的評価が3カ年で最高の高評価となった。

交友関係が良好な生徒が多く、学校生活に前向きに取り組んでいることが分かる。特に、創立30周年記念事業を進めてきた今年度、行事での充実感や、地域や小学校とのつながりを意識した活動で生徒の高評価が得られている。また、新しい学習ツールであるタブレットの活用に関しては、高い意識をもって取り組んでいることがうかがえる。しかし、A評価を見ると「3 計画的に家庭で学習している」「5 授業の振り返りをしっかり行っている」「9 俳句などの伝統文化に親しみ、音楽や美術、演劇等の文化芸術に触れることが好き」の3項目は30%台となっている。家庭における復習や伝統文化の啓発や学習機会の確保が今後も必要である。

- 昨年度に、一昨年度からA評価とB評価を合わせた肯定的評価が下がってしまっていた3項目の「14 悩みや相談を先生方はよく聞いてくれる」、「21 自分の学習や生活の状況に応じた評価」「25 各種便りやHPでの積極的な情報発信」は、評価が上がった。

「14 悩みや相談を先生方はよく聞いてくれる」は10.1%上昇、「21 自分の学習や生活の状況に応じた評価」は9.3%、「25 各種便りやHPでの積極的な情報発信」は14.8%も上昇した。

しかし、さらに、昨年度から肯定的評価が下がっている「13 学校や家で本を読んでいる」、については、今後も読書への啓発の改善を図っていきたい。

R5 保護者アンケートに対する考察

- 全体的には27項目中、A評価とB評価を合わせて肯定的評価が80%を上回る項目は16項目(昨年度と同数)で、70%に満たない項目は7項目(1項目の増)であった。全項目の平均としては、81%(昨年度から+0.3%)の肯定的な回答を得ることができた。

その中で、A項目のみに着目すると、27項目中25項目で昨年度を上回る結果となっている。はっきりと「そう思う」と回答する数が増えており、さらに、無回答率も24項目で減少した。学校の教育活動の取組をお子さんの姿から評価をしていただくことへの周知が図られたとも考えられる。

- 項目別に見ると「6 思いやりをもって生活している」「7 時と場に応じて挨拶をしている」「10 友達と仲良く生活している」「11 登校時刻やきまりを守っている」「16 部活動に前向きに取り組んでいる」「17 行事に熱心に取り組んでいる」「19 安全に気をつけて生活している」「22 いじめのない学校になるよう努めている」の8項目で、90%を超える高い評価となり、昨年度から2項目増えた。このことから、生活面では思いやりをもって、友達と仲良く、健康的に安全に気をつけ、ルールを守って前向きに学校生活を送っていると感じている保護者が多いことがわかる。特に、「22 いじめのない学校になるよう努めている」の肯定的評価は昨年度から6.9%上がって93.8%となっており、この2年間で18.4%上がった。二中学区の「子ども未来プロジェクト」の活動として、小中共通のテーマで「いじめ防止」について取り組んできたこともあり、生徒のいじめ防止に対する理解が深まり、言動にも表れてきた様子がうかがえる。また、本校のいじめ防止対策基本方針に基づいた全教職員での取り組みを、保護者に評価していただけたと思われる。
- 昨年度と比較すると、A評価とB評価を合わせた肯定的評価が昨年度を上回る項目は27項目中12項目であった。一方、肯定的評価が昨年度を下回る項目は13項目であった。
- 「25 情報発信」のA評価は15.4%上昇、「26 保護者や地域、学校運営協議会と協力」のA評価が8.8%上昇、「27 小中交流事業への参加」のA評価が12.3%の上昇が見られた。昨年度は一昨年から大きくポイントを落としていた「14 職員やスクールカウンセラーは悩みに適切に応じている」もA評価は9.6%上昇した。
- 一方、「3 計画的に家庭学習に取り組んでいる」「5 振り返りをもとに学習に取り組んでいる」「13 本を読んでいる」「15 進んで運動している」の項目では、肯定的評価が下がっている。生徒が自分の学習状況や定着度を意識しながら学習を進めていくことや、家庭学習への取組に課題があると保護者も感じていることがわかる。

R5 学校評価のまとめ

今年度は、学校評価の実施方法を変更して2年目となった。保護者への質問紙の配布をやめ、生徒に貸与しているタブレット端末からの回答とし、生徒の実施方法と同様にしたことで、保護者の web 上での回答もスムーズに行えたと思われる。回答率も、今年度は、生徒は100%、保護者は93%で、昨年度より少し上がった。

評価項目は、27項目で、そのうちの13項目は、二中学区の小学校と共通の評価項目で実施した。二中で先行して、昨年度から評価項目に手を加えていたので、経年変化を見るために、昨年度と同じ内容の評価項目とした。一部、表現を見直した項目もある。しかし、「教師」「保護者」「生徒」のそれぞれの評価項目は揃えたので、比較がやすく、それぞれのとらえ方の違いを知ることができた。

教師や生徒は、過程や意欲を重視し努力したことを評価し、保護者は結果を評価していることが多いので、教師や生徒の評価のほうが高くなる傾向にあった。これは毎年のことである。保護者には、直接学校での様子を全て見ていただいているわけではな

いので、回答しにくい項目もあると思われるが、生徒の姿から学校の教育活動の成果を評価をしていただくことについての理解をいただくよう一文添えて実施した。「判断できない」の選択率は、昨年度に比べ、若干減少した。

生徒アンケートと保護者アンケートを比較すると、差が20%以上ある項目は、「2 授業内容の理解」「4 学び合い」「14 悩みや相談」の3項目。また、生徒、保護者ともに評価が低かったのは「3 家庭学習」「4 授業の振り返りを生かした学習」だった。学習に関する課題意識が高いことがわかった。授業とのつながりを意識した家庭学習の充実を図っていく必要がある。

唯一、生徒より保護者の評価が高い項目が「25 各種たよりやHPの情報発信」だった。保護者は、学校から配布される各種便りや HPを見てくださっているのに対して、生徒は学校のHPを見る機会は少ないことがわかる。現在は便りのデータ化を進め、生徒のタブレットへの送信等も進んでいる。

ほとんどの項目が、保護者の評価の方が低いことから、保護者の期待値が生徒の自己評価より高いことが分かる。また学校生活について保護者が見えていないところもあるので、評価項目の事前の周知と、学校の教育活動についての情報発信が必要と考える。

保護者の意見や要望については、謙虚に受け止め、すぐに改善できるもの、少しずつ改善していくもの、改善は難しく保護者の理解を得るよう努力するものに分類し、職員会議等で検討し改善を図っていきたい。

今年度の学校評価の結果から、重点的に取り組んできた教育活動は、成果となって表れる事がわかった。今後も保護者・学校運営協議会委員の方々のご意見を真摯に受け止め、地域に根ざした本校ならではの教育活動を展開できるように、工夫改善を図っていきたい。

小 杉
上 野

- ・学校評価に関して一人ずつ意見をいただければと思います。
- ・5番の学習の振り返りについてのアンケートですが、振り返りを行わせている先生は100%、行っている生徒は72%、お子さんが振り返りを元に学習に取り組んでいると答えた保護者は57%と差があります。どうしてこのような数値になったのか考えてみますと、「振り返り」は教育の専門用語であって、先生にとっては当然やるべきことなのですが、生徒には伝わっていなかったのだと思います。「振り返りをやりますよ」と言わない先生もいますので、子どもたちも振り返りという意識がなく、なんとなくそれぞれの感覚で理解していたのではないかと思います。授業の最後に振り返ることは、学習目標に到達したかどうか確認するために大切なことなんだということを生徒にもしっかりと伝えることで、学習効果もかなり上がると思います。それを保護者の方にも話をしていくことで、保護者の理解も深まると思います。また、9番で、俳句などの伝統文化についてのアンケートがありましたが、子どもたちに伝統文化を好きになってもらいたいというのが到達目標だとすれば、例えば俳句っておもしろいなあと感じさせたり、好きになるような工夫をしていくと肯定

	<p>的評価も上がり、教養も身についてくるんじゃないかと思います。21番の「教職員は生徒の状況を把握し、適切な評価を行っている」というアンケートに対して先生方は、いいところを一生懸命見つけて、伸ばそうとしているにもかかわらず、子どもたちは肯定的意見が94%。保護者は82%で無回答が6.9%でした。適切な評価をしているかどうかについて、「あまり思わない」「全く思わない」と答えている子どもたちや保護者の方がいることを、先生方がしっかり意識することも必要ではないかと思います。</p>
高 山	<ul style="list-style-type: none"> • すべての項目で「全く思わない」という回答に対しては、個別の対応も必要かと思えますので、全体の傾向を見ながら個への支援も大切にしていきたいと思えます。
熊 田	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的にA評価が多いという印象で、特に学年ごとの結果を見ますと3年生にA評価が多い感じがします。2番の「教職員は学習が定着するよう、分かる授業を心がけている」というアンケートに対して、今年は特にA評価が多くて、4番の「教職員は、学び合いが進むような、課題を設定している」というアンケートに対しては、「そう思う」と言う回答が80%を超えていまして、先生方が教育に対してとても前向きなんだなあと感じました。13番の読書活動については評価が低いのですが、コロナが5類になったという影響があるのではと思います。コロナの時期は、家にいることが多く、本でも読もうかなという気になりましたが、コロナが明けて他にも楽しいことが増えてきたので、評価が下がるのも仕方がないと思えます。25番の情報発信については、子どもからプリントが届かないということが多かったので、保護者にとってはとてもありがたいと思えます。
上 野	<ul style="list-style-type: none"> • 読書が70%というのは、結構高いと思えます。
小 杉	<ul style="list-style-type: none"> • 状況が変わるとアンケートの結果も変わってくるので、なかなか難しいところですが、結果としては悪くないと思えます。
大 森	<ul style="list-style-type: none"> • 情報発信のところで、熊田さんが言ったようにプリントが届かないことが多いので、保護者はとても助かっています。福祉委員会のリサイクル活動を、すぐーるで呼びかけることを子どもたちが提案し、先生方もすぐに受け入れてくれたと聞きました。その結果回収率も上がり、ドナルドマクドナルドハウスでも喜んでもらえたということで、学校評価のアンケート結果も良かったのではないかと思います。また、英語の授業で、寸劇をしてみんなの前で発表する活動があったと聞きました。どうやったら英語で相手に伝えられるのかということをお互いに話し合いながら進めていくということで、4番の「友達の良さを認め、協力して学習に取り組んでいる」という姿勢を感じさせられました。今日やった3年生から1・2年生への学習支援活動についても、受験期に行うのはしんどいかなとも思いましたが、逆に勉強の仕方が分かってきた今だからこそそれを伝えられますし、3年生にとっても他の勉強のやり方を吸収することができて、本当にいい活動だなと思いました。夏椿祭でもどうやったら楽しんでもらえるかを考えたり、売り上げのことを考えたりすること

伊 澤	<p>で、社会で生きていくための力を身につけ、子どもたちは大きな成長ができたのではないかと思います。この評価の結果をみてもそれを感じます。アンケートに記名することに関しては、どうして?という保護者もいましたが、名前を書くことで無回答だった人に手を差し伸べることもできるという意見を聞きまして、そういう良い面もあるのだなあと思いました。</p> <p>・情報発信については、会話がある家はいいですが、会話のない家では子どもたちから情報が伝わらないので、ホームページで学校の様子が写真で見られたりすると、安心する面もあると思います。今年度は、コロナ禍が明け、いろいろとできるようになり、30周年記念行事もあって、学校評価もすごくいい評価になったのだと思います。また、文化祭のパンフレットをうちの子どもたちが見ていて、「中学生でこれ!」みたいな感じで、高校のパンフレットと比べてみてすごく驚いていました。卒業した子にとっても今年の二中のイベントは、刺激になったのではないかと思います。中学校での経験が高校に行ったときに役に立って、その高校の活動が活発になったりすると、とてもいいことだなあと思っています。学校評価の保護者と子どもの意見の違いについては、家庭の状況によってはどうしても親子の温度差みたいのが出てしまうので、仕方ないと思います。</p>
小 杉	<p>・13の読書の評価は低くないと思います。ここ数年コロナで思うような活動ができなかったわけですが、今年ではできなかったことがやっとできるようになり、30周年ということもあって、そのうれしさが結果に出てるんだなと思います。今年の様子を見て、1・2年生も来年以降同じようにやってくれると思いますし、その結果が学校評価の満足度にも出てるのだと思います。22番のいじめに関しては、「私はいじめのない学校になるように努力している」という生徒への質問に対して「あまり思わない」と感じている生徒は、自分からいじめられていると感じているんじゃないかなと思うので、先生の方で様子を見ていただいて、手を差し伸べていただければと思います。学校側が継続的に見てくれているというのが、生徒にとっては安心感につながるので、これからも見守っていただいて子どもたちが安心して学校に来られるような状況をつくっていただければと思います。保護者に関しては厳しい意見が多いのは当たり前なので、回答してくれたことだけで良かったと思えばいいのかなと思います。この前ドナルドマクドナルドハウスにボランティアで行った時に、中2が職場見学で来たときのお礼状が貼ってありました。それを読んでみるとただ言葉だけのお礼ではなく、ボランティアの方がやってくれたことの内容や本人の気持ち様が具体的に書かれており、相手に伝わる内容でした。先生も指導されたと思いますが、手紙を書く勉強にもなり、世の中には勉強したくてもできない人がいるということも分かってもらうことにもなりますし、本当にいい活動だと思いました。3年生による学習支援は、確かに受験の時期にやるのは大変かもしれませんが、ただ単に友達に聞くのではなく、相手がいって伝えるという形で発表することで、</p>

高山	<p>自分の学びにもなりますし、可能であれば来年以降もぜひ続けてほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生は本当に大変な時期ですが、だからこそ迫力のある話ができただけだと思います。笑いを取るはずのところでも1・2年生が凍り付いていた場面もありまして、「もう少し温めておいてくださいよ」と、担任の先生が3年生に言われていました。
大森	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の3年生は、なんとなくみんなが1つになってがんばれている気がして、休んでいた子が学校に来たときに、仲間に入れる雰囲気があるのをすごく感じています。受験期への切り替えもスパッとできて、3年生はすごくいい雰囲気だと思います。それは、先生たちが子どもたちの意見をちゃんと聞いてくれて、できることとできないことを子どもたちが納得する形で伝えてくれるので、子どもたちもまとまってきたのかなと思います。
小杉	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年ともいい子どもたちだなと思います。学校行事の時しか見ていませんが、まとまっていますしきちんとした行動をしているので、すごくいいと思います。
田澤	<ul style="list-style-type: none"> ・読書についてですが、今年、子どもたちが図書室の本を自分たちで選ぶ「選書委員会」を立ち上げました。選ぶ際のルールを示し、PTAの方からいただいている図書費の1割を使って、子どもたちが本を選んでいいことになっています。各学級の代表を1名ずつ選び、その中から委員長と副委員長を決め、半年ぐらいの活動で8回ぐらい集まりました。購入図書が決まって実際に購入し、図書室にそのコーナーを作ったところ、すぐに借り手がつきました。さらに選んだ子がその本のポップを作るなど、子どもたちは意欲的に一生懸命やってくれました。そのような活動が少しずつ積み重なって、少しでも本を手にとって読んでみようかなと思う子が増えていくのが理想かなと思います。4月当初に図書室の利用についてのオリエンテーションをやりますが、今年の1・2年生はやったので、その時間に図書室に関するクイズみたいのをやって図書室への興味関心を高めていく活動を企画しているということです。
小杉	<ul style="list-style-type: none"> ・本に興味を持つということは必要なことですし、いい本を読まないといい文章は書けませんので、いい方向に行くことを心から応援したいと思います。 <p>【情報交換】</p>
小杉	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて情報交換について何かあればお願いします。
大森	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度のPTA役員が決まりました。
小杉	<ul style="list-style-type: none"> ・他に議題がないようなので、お返しします。
高山	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に1年間、お世話になりました。子どもたちのいろいろな活動の場面を見ていただいて、本当にありがたかったです。今日いただいた貴重なご意見を生かしていきたいと思います。
田澤	<ul style="list-style-type: none"> ・追加で報告します。昨年末に小学校が廃棄する予定のテレビをもらってきました。特別教室でテレビがない教室があったので、新しく8台、家庭科室等に配置しました。これでどのクラスでもテレビが活用できるようになりました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・予定では、特別教室や体育館の方のトイレの改修を来年度行うこととなります。 ・留守番電話も今年度中には、下野の市の全校に配備される予定です。中学校ですと子どもたちが下校した時間から1時間後に留守番電話に切り替わる予定です。もうすでに国分寺中や細谷小に配備されており、比較的電話機の交換がスムーズな学校から対応していきまして、本校は複雑なシステムなので時間がかかるらしいです。今のところ遅い時間の電話はそんなには多くないです。
高 山	<ul style="list-style-type: none"> ・多くはないですが、毎日のようにあります。19:30 過ぎの電話や生徒が忘れ物を取りに来たり、提出物を出しに来たりと。
田 澤	<ul style="list-style-type: none"> ・ざっとした統計ですが、昨年度より平均で1か月2時間ぐらい先生方の残業時間が減っています。昨年の平日1か月の平均が49時間、今年が47時間で、下校時刻の見直しや業務内容を整理したことで、少しは効果があったと思います。来年度は部活動の終了を、1番長い夏の時期でも18時完全下校に変えます。実際夏の暑い時期は、子どもたちの体力が持たないので、今年度も18時には練習を切り上げていました。 ・生活ノートも今まで紙ベースのものを使っていましたが、今は黒板に書いてある連絡事項をカメラで撮って子どもたちに配信しています。日記の部分は今後検討する予定です。
高 山	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、時間になりましたので、これで終わりにします。今日は、本当にお世話になりました。ありがとうございました。